

平成30年度第1回学校評価・学校振り返りアンケートの分析結果について

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/matsuo-s/>



平成30年12月14日

京都市立松尾小学校

校長 松井 靖至

先日は、平成30年度第1回学校評価に御協力いただきありがとうございました。同時期に、子ども達には、学校振り返りアンケートを実施いたしました。その結果の主たるものについて、報告させていただきます。また結果の詳細については、松尾小学校のホームページ右側にある『配布文書一覧』にアップしています。お時間があるときにご覧ください。

○学校評価と学校振り返りアンケートの結果からみる主な特徴

全体を通して、前年度よりもほとんどの項目で「出来ている」割合が増えていました。また、今年度はすべての項目で「わからない」という回答が減っていて、学校の取組や学年・学級の様子がしっかりと伝わっているように感じられました。

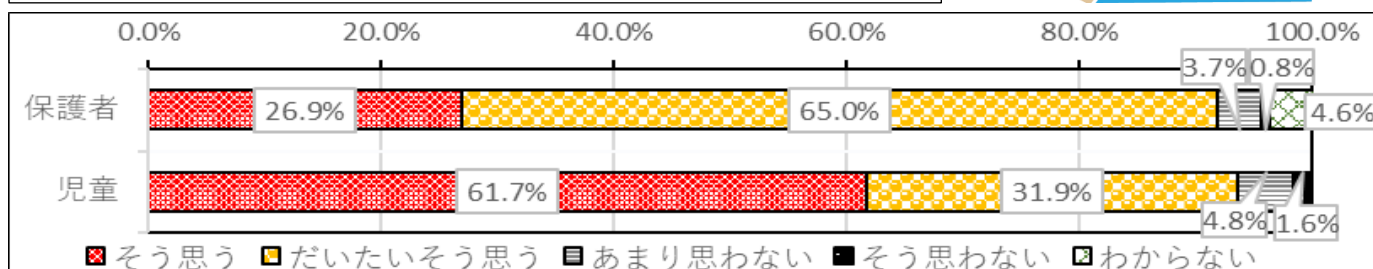


学校評価全体でよかったもの



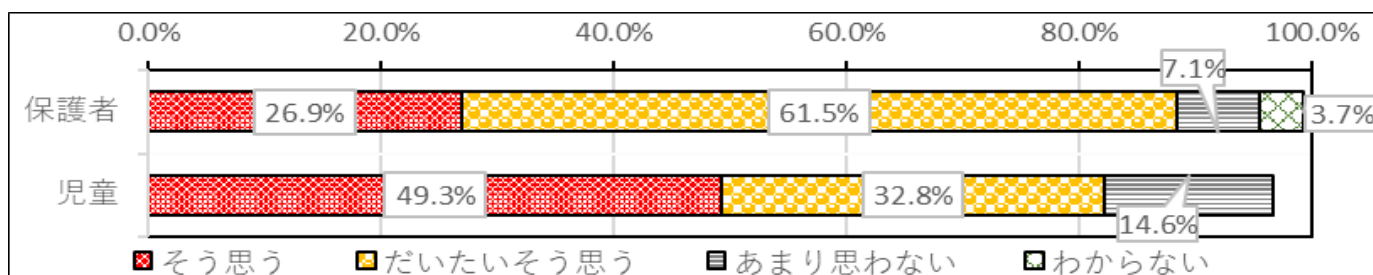
①学校は、一人一人を大切にする教育を行っている。（保護者）

①学校に行くのは、楽しいですか。（児童）



②学校は、子どもの悩みや相談に適切に対応しようとしている。（保護者）

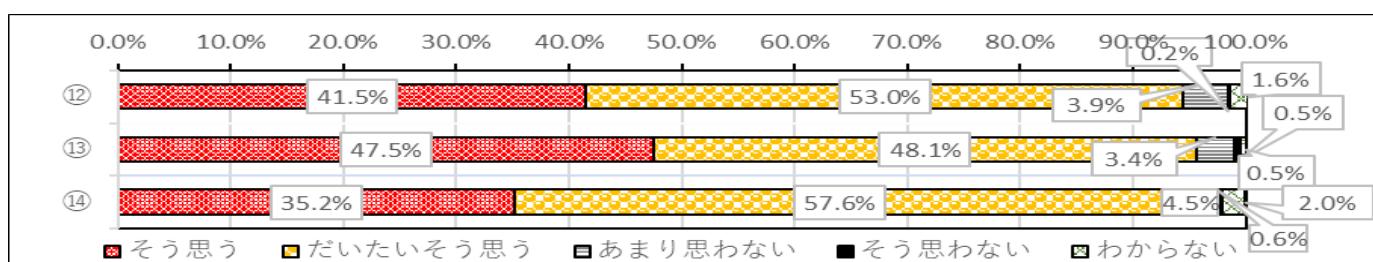
②あなたが思っていることを、先生や友達に話せていますか。（児童）



⑫学校は、松尾小学校の子どもに豊かな体験をさせるため、地域と協力した取組を行っている。

⑬学校は、学年・学校便りやホームページ等で、学校の教育方針・学校の様子を伝えることができる。

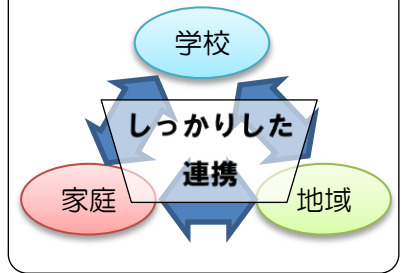
⑭我が子は、友達とのかかわりの中で成長することができる



①, ②については年々保護者、児童ともに「出来ている」との回答が増加傾向にあり、児童・保護者に対して学校が適切に対応し、悩みを相談しやすい環境が整ってきていることが分かります。

⑫・⑬は昨年度より追加された項目になりますが、昨年度よりも高評価を得ています。**学校・地域・家庭の連携**をうまくとっているのが松尾の強みともいえるようです。⑭については今年度より取り入れた項目になりますが、高評価を得ています。松尾の子どもたちは人権意識を高くもち、友達同士とても仲良く取り組むことができます。それが保護者の方にも伝わっている表れだといえるでしょう。

松尾のよさ



【運営協議会より】

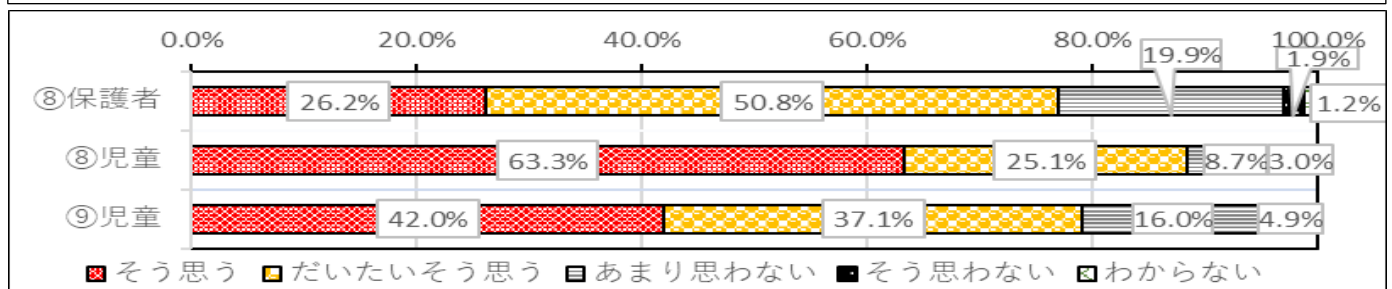
- ・共に数値が高いのは素晴らしいこと。学校への期待値も高まっていく。
- ・どんな内容が高評価に繋がっているのか、より深く分析していく必要がある。

学校評価全体で課題の残るもの

⑧我が子は、食事や運動、睡眠など、自らの体を大切にしようとする気持ちが育ってきている。(保護者)

⑧体のことを考えて好き嫌いをなく食べようとしていますか。(児童)

⑨体のことを考えて早寝・早起きをしていますか。(児童)

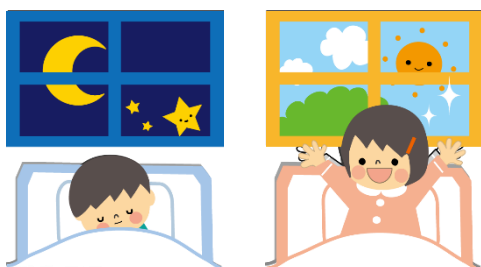


⑨体のことを考えて早寝早起きをしていますか。(児童)

学年	そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	そう思わない
1年生	64.9%	21.6%	8.2%	5.2%
2年生	49.5%	38.8%	7.8%	3.9%
3年生	46.9%	35.4%	12.5%	5.2%
4年生	38.5%	41.3%	14.7%	5.5%
5年生	27.7%	48.7%	21.0%	2.5%
6年生	25.8%	36.7%	30.0%	7.5%

年々改善傾向に見られる上記の項目ですが、他項目に比べると「そう思う」「だいたいそう思う」の合計値は低いようです。特に高学年になるほどその値が低くなっていきます。全国学力・学習状況調査でも生活習慣に関わるアンケート結果は全国値よりも下回っていました。長期休み明けに行っている「生活点検」でも早寝・早起きに課題が見られます。

高学年であっても9時間～9時間半の睡眠が理想的とされています。子どもたちも忙しい現代社会ですが、今一度生活習慣を見直し、健康的な生活を送れるようにしていきたいですね。



がんばろう！早寝・早起き！



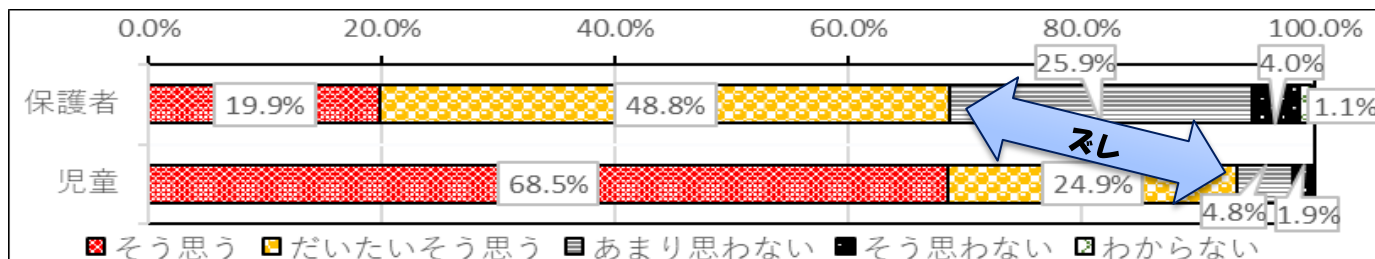
保護者と児童で感じ方の違うもの



下記3項目についてはどれも昨年度よりも「出来ている」の回答が増加傾向にあるものの、保護者と児童の感じ方の差が大きく見られました。

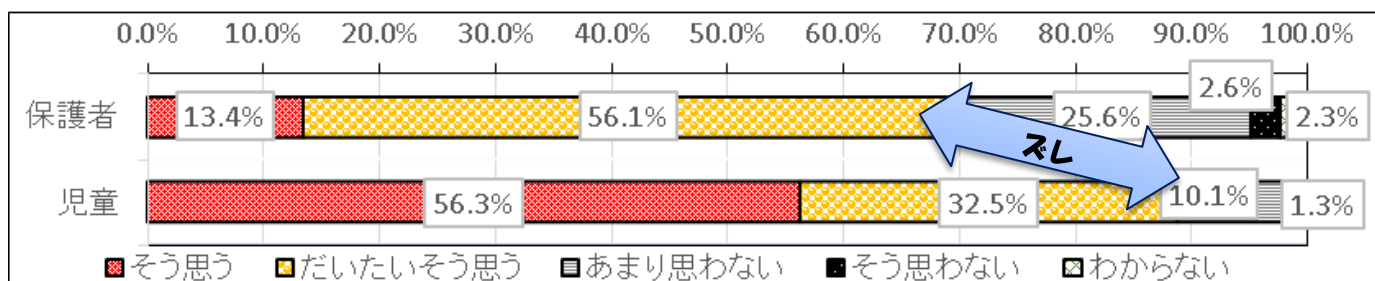
④我が子は、自ら進んで挨拶しようとする態度が育っている。(保護者)

④自分から「おはようございます」とあいさつをしていますか(児童)



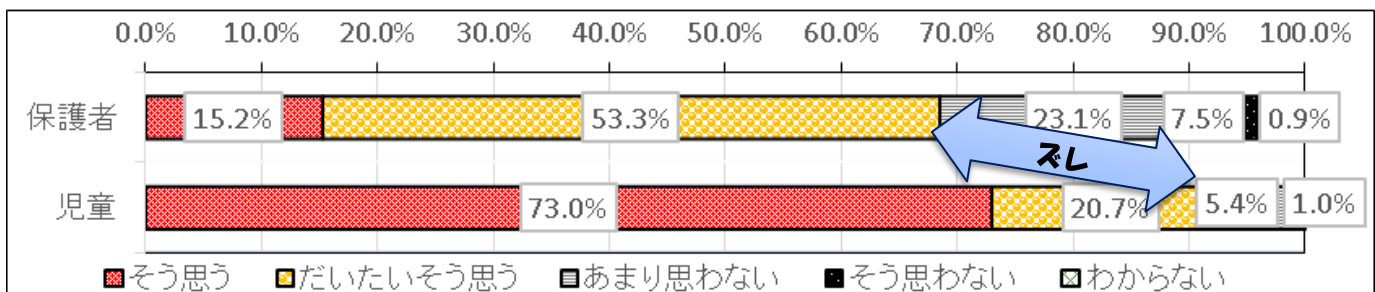
⑤我が子は、自分に自信をもって行動することができている。(保護者)

⑤自信をもってがんばったり、苦手なことにも挑戦したりしていますか。(児童)



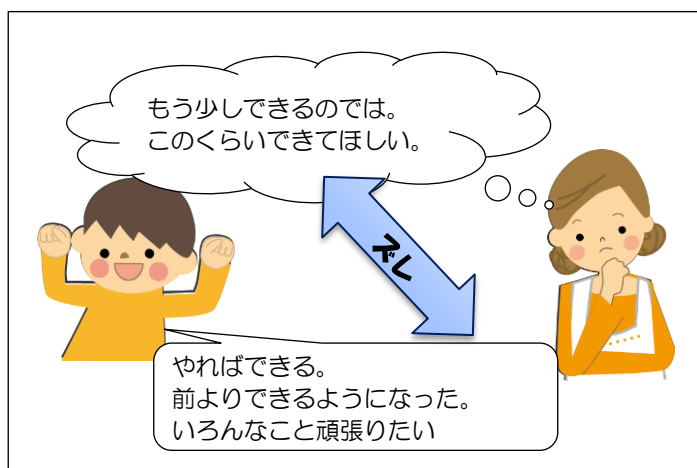
⑩我が子は、学校や家庭での学習に意欲的である。(保護者)

⑫学校や家で勉強や宿題をがんばっていますか。(児童)



なぜズレが生じるの？

子どもたちの自尊感情が高まり、自己評価が高まったと考えることもできますし、保護者の方から子どもたちへの「もっとできるはず」「このくらいはできてほしい」という期待の表れともとらえることができます。今後は子どもたちの自己有用感を大切にしながら、理想的な挨拶の仕方や学習への取り組み方なども考えながら行動できるように声かけをしていきたいと思います。



【運営協議会より】

- ・朝の挨拶はできているが、昼や帰りはもう少し挨拶してほしい。
- ・以前より挨拶できている子が増えていて、地域の方が愛情をしっかりと注いでくれるのが分かる。
- ・「おはよう。」は言いやすいが「こんにちは。」は言いにくい？
- ・子どもと親で感じ方が違うのは、親が子の姿を知らないのもあるのでは。
- ・子どもを褒めることで自信につながっている。いろんな人から褒められるのも大事。



運営協議会の様子

松尾の子どもたちのために
誰もが真剣に考えながら、
意見を交流します

◆保護者自由記述 より

「子どもとのふれあいの中で大事にしていることはなんですか。」

- ①会話・話を聞く ・一日に一回は話を聞く ・学校での話を聞く ・目を見て会話する ・話しやすい環境をつくる
・なるべくその場で話を聞く ・手を止めて話を聞く ・ゆっくり最後まで聞く
- ②一緒に時間を大事にする ・一緒にご飯を食べるようにしている ・自然体験を一緒にする ・宿題を見守る
・一緒に寝る ・一緒に読書する（読み聞かせ） ・一緒に遊びを楽しむ
- ③認める（気持ちの汲み取り、個性の尊重、ほめる） ・子どもの主張を聞いてから、話をする。 ・小言ばかり
にならないように褒める ・子どもの個性を認める ・一人の人間として接する
- ④愛情を伝える ・大事に思っていることを言葉や態度で伝える ・自己肯定感を高められるようにしている ・成長を
喜んでいることを伝える。
- ⑤スキンシップ ・寝る前にぎゅうっする ・なるべくじゃれあう遊びをする

その他 ・あいさつをきちんとする ・社会性を身につける ・思いやりの大事さを伝える など

右表自由記述の有効回答率（記入数/回収数）では低学年と高学年で差が生じていました。高学年になるほどふれあいの時間の持ち方が難しくなってくる表れだと考えることが出来ます。運営協議会の中では「親が積極的にかかわっていくべき」という意見も出ていましたが、思春期に入っていく子どもたちとどう関わっていくか、家庭と学校と連携しあって考えていけるとよいと思います。第2回運営協議会における永野先生の講演では大人が子どもたちにどう向き合っていくかということを教えていただきました。下記に簡単に抜粋しましたので、考えてみてください。

自由記述 有効回答率

年	有効回答率
1年	79.2%
2年	79.8%
3年	76.5%
4年	67.3%
5年	70.7%
6年	67.2%

<第二回学校運営協議会 アドバイザー 京都文教大学 永野貴子先生より>

～大人として子どもに向き合う～

子ども一人一人がそれぞれ自己実現できるためのサポートとして、「どんな人間になって欲しいか」という根本的な教育観が大人には求められます。日常に見られる子どもの実態をきちんと理解して、一人の人間として子どもと向き合うことが大事です。子どもに向き合い、共に生きるためにどうしたらよいと考えていきましょう。

<大人として心がけたいこと>

- ・ありのままを受け容れる（受け止め引き受ける）
- ・逃げない（見て見ぬふりの重大さ）
- ・事実を伝える（脚色しない）
- ・易しい言葉で（誰にでもわかる言葉、相手と同じ目線）
- ・注意は等しく 指導は個別に（背景のちがいを認識する）
- ・追い込まない（誰も知らなくても自分が知っている）
- ・迎合しない（耳に都合の良いことより耳が痛いことを言う）
- ・子どものせいにししない（結果は指導者の力量が半分）
- ・出来ないのが当たり前（出来るようにするのが大人の役割）
- ・敬意を払う（人それぞれにプライドがある、もちろん子どもにも）